



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4603S		
科目名	ゼミナールⅢ		
担当教員	古谷 洋一		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 4		
講義室	1211	単位区分	必
授業形態	演習・ゼミナール	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP3-G [状況把握力・判断力] 自らの置かれた状況，及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し，適切に対応することができる。 DP3-H [論理的思考力・批判的思考力] 理路整然とした思考を備えつつ，偏りを排除するための内省をもって，問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-F [探求力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し，それに対する答・結論・判断を合理的に導くために，論拠の収集と分析を体系的に行うとともに，オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし，検証し実行することができる。 DP4-I [理解力・分析力] 文章表現，数値データを適切に扱いつつ，情報の収集と取捨選択，分析と加工を有効かつ円滑に行い，課題の解決につなげることができる。 DP6-K [表現力・対話力] 文章及び口頭で，自らの考えを的確に表現し，他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジスキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 C1 倫理的思考・社会認識（5%） E1 学識と専門技能（10%） F1 探求と論拠（10%） F2 課題解決（10%） G1 状況把握（10%） H1 論理的思考（10%） H2 批判的思考（10%） I1 理解・分析と読解（10%） K1 ライティング・コミュニケーション（10%） K2 オーラル・コミュニケーション（10%） M1 統合的・応用的学修（5%）		
教員の実務経験	1986年に警察庁に入庁し，以後35年余にわたり警察行政等に従事した経験を適宜踏まえつつ，授業を行います。（第1～15回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標とステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	危機管理に関する専門的な問題解決のために必要な知識やスキルを身に付けるための指導を行います。学生個人のキャリア形成にもつながるよう，学生自身が危機管理に関する具体的な業務，資格などに関する専門的な研究を行い，実務教員が中心となり実践的な指導を行います。危機管理に関する知識や教養を養うだけでなく，危機管理において必須となるコーディネ		

	ート、マネジメントに必要な調整能力を身に付けることを目標とします。ここでは、危機管理に関する実務について、各自が研究テーマを設定し事例分析等を踏まえて実践的な指導を行います。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：危機管理、安全確保、事件・事故								
授業の趣旨	■副題 安全確保のための法とその運用に関する研究 ■授業の目的 様々な社会事象に内在するリスクを読み取り、その展開を予測し、被害防止・軽減のための的確な対処方法を考える能力を培うことを目的とします。 ■授業のポイント 過去の教訓に基づく安全確保のための法制度とその運用事例についての検討・議論を通じ、リスク管理の様々な手法への理解を深めるとともに、多面的な分析・判断力の修得を図ります。								
総合到達目標	■危機管理上の諸問題を正しく理解し、分析し、合理的かつ現実的な対処方法を提示することができる。 ・課題や問題点の抽出、論点整理を適切に行うことができる。（第1～15回） ・調査・分析に必要な資料を適切に収集・活用できる。（第1～15回） ・報告すべき事項を的確に表現・説明できる。（第1～15回）								
成績評価方法	■授業参加度（60%）：適用ルーブリック：C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K2・M1 （評価の観点）予習状況（特に他学生発表回に係るもの）を含む受講態度、議論の積極性等について評価します。 （フィードバックの方法）必要に応じてコメントします。 ■プレゼンテーション3回（40%）：適用ルーブリック：C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1 （評価の観点）プレゼンテーションの内容（調査・準備の充実度、論理性等）や技法について評価します。 （フィードバックの方法）プレゼンテーション終了後、教員から講評を行います。								
履修条件	特になし。								
履修上の注意点	演習形式の授業は各自の十分な準備（予習）と積極的参加がなければ効果が上がらないことを認識して臨むことのほかは、特になし。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ 研究候補テーマ説明 ②授業概要 夏季休暇期間中に再考した研究テーマとその研究方法について説明し、全員で意見交換を行う。（C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 候補テーマに関し何らかのコメントができる程度に調べておくほか、説明予定者は自らの説明の準備を行う。 ④復習（120分） 意見交換等の結果を踏まえて研究テーマや研究方法について再考する。説明者以外も、自らのテーマ選定や研究方法の参考となるべき事項を整理しておく。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 研究候補テーマ説明 ②授業概要 夏季休暇期間中に再考した研究テーマとその研究方法について説明し、全員で意見交換を行う。（C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 候補テーマに関し何らかのコメントができる程度に調べておくほか、説明予定者は自らの説明の準備を行う。 ④復習（120分） 意見交換等の結果を踏まえて研究テーマや研究方法について再考する。説明者以外も、自らのテーマ選定や研究方法の参考となるべき事項を整理しておく。。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 研究候補テーマ説明 ②授業概要 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ 研究候補テーマ説明 ②授業概要 夏季休暇期間中に再考した研究テーマとその研究方法について説明し、全員で意見交換を行う。（C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 候補テーマに関し何らかのコメントができる程度に調べておくほか、説明予定者は自らの説明の準備を行う。 ④復習（120分） 意見交換等の結果を踏まえて研究テーマや研究方法について再考する。説明者以外も、自らのテーマ選定や研究方法の参考となるべき事項を整理しておく。	2	①授業テーマ 研究候補テーマ説明 ②授業概要 夏季休暇期間中に再考した研究テーマとその研究方法について説明し、全員で意見交換を行う。（C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 候補テーマに関し何らかのコメントができる程度に調べておくほか、説明予定者は自らの説明の準備を行う。 ④復習（120分） 意見交換等の結果を踏まえて研究テーマや研究方法について再考する。説明者以外も、自らのテーマ選定や研究方法の参考となるべき事項を整理しておく。。	3	①授業テーマ 研究候補テーマ説明 ②授業概要
回	内容								
1	①授業テーマ 研究候補テーマ説明 ②授業概要 夏季休暇期間中に再考した研究テーマとその研究方法について説明し、全員で意見交換を行う。（C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 候補テーマに関し何らかのコメントができる程度に調べておくほか、説明予定者は自らの説明の準備を行う。 ④復習（120分） 意見交換等の結果を踏まえて研究テーマや研究方法について再考する。説明者以外も、自らのテーマ選定や研究方法の参考となるべき事項を整理しておく。								
2	①授業テーマ 研究候補テーマ説明 ②授業概要 夏季休暇期間中に再考した研究テーマとその研究方法について説明し、全員で意見交換を行う。（C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 候補テーマに関し何らかのコメントができる程度に調べておくほか、説明予定者は自らの説明の準備を行う。 ④復習（120分） 意見交換等の結果を踏まえて研究テーマや研究方法について再考する。説明者以外も、自らのテーマ選定や研究方法の参考となるべき事項を整理しておく。。								
3	①授業テーマ 研究候補テーマ説明 ②授業概要								

	夏季休暇期間中に再考した研究テーマとその研究方法について説明し、全員で意見交換を行う。(C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習(120分) 候補テーマに関し何らかのコメントができる程度に調べておくほか、説明予定者は自らの説明の準備を行う。 ④復習(120分) 意見交換等の結果を踏まえて研究テーマや研究方法について再考する。説明者以外も、自らのテーマ選定や研究方法の参考となるべき事項を整理しておく。
4	①授業テーマ 研究進捗状況報告 ②授業概要 研究テーマ中の一定の事項について調査研究の進捗状況をレジюмеを作成して報告し、全員で意見交換を行う。(C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習(120分) 報告予定者が事前に配布するレジюмеを読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習(120分) 意見交換等の結果を踏まえて報告の内容を再整理する。説明者以外も、自らの調査研究の参考となるべき事項を整理しておく。
5	①授業テーマ 研究進捗状況報告 ②授業概要 研究テーマ中の一定の事項について調査研究の進捗状況をレジюмеを作成して報告し、全員で意見交換を行う。(C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習(120分) 報告予定者が事前に配布するレジюмеを読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習(120分) 意見交換等の結果を踏まえて報告の内容を再整理する。説明者以外も、自らの調査研究の参考となるべき事項を整理しておく。
6	①授業テーマ 研究進捗状況報告 ②授業概要 研究テーマ中の一定の事項について調査研究の進捗状況をレジюмеを作成して報告し、全員で意見交換を行う。(C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習(120分) 報告予定者が事前に配布するレジюмеを読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習(120分) 意見交換等の結果を踏まえて報告の内容を再整理する。説明者以外も、自らの調査研究の参考となるべき事項を整理しておく。
7	①授業テーマ 研究進捗状況報告 ②授業概要 研究テーマ中の一定の事項について調査研究の進捗状況をレジюмеを作成して報告し、全員で意見交換を行う。(C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習(120分) 報告予定者が事前に配布するレジюмеを読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習(120分) 意見交換等の結果を踏まえて報告の内容を再整理する。説明者以外も、自らの調査研究の参考となるべき事項を整理しておく。
8	①授業テーマ 研究進捗状況報告 ②授業概要 研究テーマ中の一定の事項について調査研究の進捗状況をレジюмеを作成して報告し、全員で意見交換を行う。(C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習(120分) 報告予定者が事前に配布するレジюмеを読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習(120分)

		意見交換等の結果を踏まえて報告の内容を再整理する。説明者以外も、自らの調査研究の参考となるべき事項を整理しておく。
9	①授業テーマ 研究進捗状況報告 ②授業概要 研究テーマ中の一定の事項について調査研究の進捗状況をレジюмеを作成して報告し、全員で意見交換を行う。(C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習(120分) 報告予定者が事前に配布するレジюмеを読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習(120分) 意見交換等の結果を踏まえて報告の内容を再整理する。説明者以外も、自らの調査研究の参考となるべき事項を整理しておく。	
10	①授業テーマ 研究進捗状況報告 ②授業概要 研究テーマ中の一定の事項について調査研究の進捗状況をレジюмеを作成して報告し、全員で意見交換を行う。(C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習(120分) 報告予定者が事前に配布するレジюмеを読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習(120分) 意見交換等の結果を踏まえて報告の内容を再整理する。説明者以外も、自らの調査研究の参考となるべき事項を整理しておく。	
11	①授業テーマ 研究進捗状況報告 ②授業概要 研究テーマ中の一定の事項について調査研究の進捗状況をレジюмеを作成して報告し、全員で意見交換を行う。(C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習(120分) 報告予定者が事前に配布するレジюмеを読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習(120分) 意見交換等の結果を踏まえて報告の内容を再整理する。説明者以外も、自らの調査研究の参考となるべき事項を整理しておく。	
12	①授業テーマ 研究進捗状況報告 ②授業概要 研究テーマ中の一定の事項について調査研究の進捗状況をレジюмеを作成して報告し、全員で意見交換を行う。(C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習(120分) 報告予定者が事前に配布するレジюмеを読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習(120分) 意見交換等の結果を踏まえて報告の内容を再整理する。説明者以外も、自らの調査研究の参考となるべき事項を整理しておく。	
13	①授業テーマ 研究進捗状況報告 ②授業概要 研究テーマ中の一定の事項について調査研究の進捗状況をレジюмеを作成して報告し、全員で意見交換を行う。(C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習(120分) 報告予定者が事前に配布するレジюмеを読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習(120分) 意見交換等の結果を踏まえて報告の内容を再整理する。説明者以外も、自らの調査研究の参考となるべき事項を整理しておく。	
14	①授業テーマ 研究進捗状況報告 ②授業概要 研究テーマ中の一定の事項について調査研究の進捗状況をレジюмеを作成して報告し、全員で意見交換を行う。(C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1)	

	担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 報告予定者が事前に配布するレジュメを読み，論点，疑問点等を整理しておく。 ④復習（120分） 意見交換等の結果を踏まえて報告の内容を再整理する。説明者以外も，自らの調査研究の参考となるべき事項を整理しておく。
15	①授業テーマ 研究進捗状況報告 ②授業概要 研究テーマ中の一定の事項について調査研究の進捗状況をレジュメを作成して報告し，全員で意見交換を行う。（C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 報告予定者が事前に配布するレジュメを読み，論点，疑問点等を整理しておく。 ④復習（120分） 意見交換等の結果を踏まえて報告の内容を再整理する。説明者以外も，自らの調査研究の参考となるべき事項を整理しておく。
関連科目	「ゼミナールⅠ（RMGT4601S）」（2年次後学期配当），「ゼミナールⅡ RMGT4602S」（3年次前学期配当），「ゼミナールⅣ（RMGT4604S）」（4年次前学期配当），「ゼミナールⅤ（RMGT4605S）」（4年次後学期配当）
教科書	使用しません。
参考書・参考URL	必要の都度，授業及びClassroomで指示します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜1限。それ以外の時間帯も，必要に応じてメール等を通じた事前予約により対応します。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント10%；パブリックセキュリティ70%；グローバルセキュリティ10%；情報セキュリティ10% ■危機管理と法学のバランス 危機管理50%；法学50%

